

プロジェクト名	「恵那と日野を結ぶ食と子ども」プロジェクト
研究所名	食育研究所(所長 白尾美佳 教授)
設置開始	2011.7.20
設置終了	2014.3.31

■研究の進捗状況(研究員の活動実績含む)

学祖が誕生した恵那市岩村に対して認識をたかめるため、岩村の町並み、歴史の変遷、現状調査を行った。また、恵那市の農作物を利用した特産品の調査ならびに学校給食についての調査を行った。特産品については、漬物と寒天に着目して嗜好調査、寒天については恵那産と他市産との物性の比較を行った。一方、日野市においては、小学校、中学校、子ども家庭支援センター、地域において食育活動、子ども子育て支援活動を行った。学生が地域においてスムーズに活動を推進できるように、活動前に、挨拶、言葉づかい、異世代の人々との接し方などについてのマナー教室を開催、食育活動及び子ども子育て支援活動を実施する際のリーフレットの作成を行った。

なお、日野市は都市農業が残る緑豊かな町であることから、地域の環境保全に関する活動ならびに食農教育の観点からも活動を推進した。本年度は、学生が日野学生フォーラム「都市の緑地と農地を考える—学生からのメッセージ」を企画・運営・発表、ワールドカフェ方式によるワークショップを行った。また、日野市農家による食農教育に関する講演会の開催ならびに日野市農作物を使用したレシピ集の作成を行った。本学学生に対する授業への還元として、地域と連携した授業方法の開発を行った。

■現在までの達成度

日野市における食育活動を通しての教育貢献、日野市産の食材を利用したレシピの開発、地域の環境保全に関する活動、授業開発研究に関してはほぼ達成でき、日野市における子どもの教育に関して寄与できた。また、学生は、教育活動や食育活動の中で地域住民や他職種と協働、連携して行くことの重要性を認識し、自信と意欲をもつようになり成長することができた。一方、恵那市における食を通じた教育貢献については今後さらに研究を推進する必要性がある。

■次年度以降の研究(見込み)

平成23年度の研究計画を継続する。特に、平成24年度は恵那市における子どもの食と教育について研究を推進する。さらに、食と地域・観光との関わり、地域の農作物をどのように第6次産業化として発展することができるかを日野、恵那以外の他地域の事例をもとに検討する。

■代表的な研究成果(雑誌、学会発表、図書等)

- ・子ども、子育て支援ボランティアリーフレット作成
- ・食育活動ボランティアリーフレット作成
- ・地場産野菜を利用したレシピ集